

【年度末労働災害防止】

建設業年度末労働災害防止強調月間が3月1日～31日実施されています。

労働災害は年間を通して、1月及び3月が他の月を上まわっているため、建設業年度末労働災害防止強調月間として、労働災害防止を呼びかけているわけです。

年度末に発生する労働災害の要因として、公共工事の完成時期を迎えるため、工事の輻輳化、変更による突貫的な施工、作業間の連絡調整不足、作業指示の不徹底、体調管理不足などが考えられています。年度末における労働災害が多い、次の項目に関し事故防止を図ってください。

- 三大災害（墜落・転落災害、建設機械、クレーン等災害、倒壊・崩壊災害）
- 交通労働災害
- 不安全行動による災害
- 健康管理による災害



【交通事故の発生原因】

交通事故は「認知ミス」64%「判断ミス」23%「操作ミス」9%「その他」4%の比率で発生しています。

認知ミス 前方不注意、考え事、同乗者との会話等により、横断歩行者、停止した前車、赤色信号等を発見しない。

又、その発見が遅れることです。

判断ミス 進路前方の危険要因を見つけても、「相手は止まるだろう」「進路を譲ってくれるだろう」「先に通過できるだろう」等と身勝手な判断をすることです。

操作ミス ハンドルの切りすぎやブレーキの踏み加減、ギヤチェンジ等の操作の誤りをいいます。



認知・判断ミスを無くせば8割以上の交通事故を減らすことができますが、労働災害でも一番多いように増加している、車は操作により思い通りに動かすことができ、便利で快適な乗り物なのですが、一歩間違えると「走る凶器」となり他人を傷つけてしまうこととなります。運転技能はどなたも優れていますので、運転に対する謙虚な気持ちを身につけて、交通災害で悲惨な目に遭わないようにしてください。



【安全標語募集】



平成19年度安全標語を募集しています。

今年の安全大会は4月20日（金）午後1時から大越公民館で開催致します。公演には阿呆鳥の菊池章夫さんによるコンサートを予定しています。皆さんが年度末まで老骨に鞭を打って働いた体を癒してあげたく無理を承諾して頂きました